

# 平成28年度若桜町歳入歳出決算・基金運用状況 審査意見

## 1 審査の対象

### (1) 歳入歳出決算

#### ア 一般会計

平成28年度若桜町一般会計歳入歳出決算

#### イ 特別会計

- ① 平成28年度若桜町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- ② 平成28年度若桜町介護保険事業特別会計歳入歳出決算
- ③ 平成28年度若桜町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- ④ 平成28年度若桜町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
- ⑤ 平成28年度若桜町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- ⑥ 平成28年度若桜町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
- ⑦ 平成28年度若桜町赤松団地造成事業特別会計歳入歳出決算
- ⑧ 平成28年度若桜町財産区造林事業特別会計歳入歳出決算
- ⑨ 平成28年度若桜町索道事業特別会計歳入歳出決算
- ⑩ 平成28年度若桜町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算

### (2) 上記決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書

### (3) 基金運用状況

- ① 若桜町土地開発基金

## 2 審査の方法

決算審査にあたっては、町長から提出された歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書について、主に

- (1) 計数は正確か
- (2) 予算の執行が地方自治法第2条第14項及び同条第15項の規定に則った効率的な処理と合理的な運営がなされているか
- (3) 会計経理事務は、関係法規に準拠し、適正に処理されているか
- (4) 財産の取得、管理及び処分は、適正に行われているか
- (5) 地方自治法第241条第5項の規定に基づく基金の運用状況は適正か

を視点として、関係証書類等により照合精査するとともに、関係当局の説明を聴取し、併せて例月出納検査・定期監査等の結果を勘案して慎重に審査した。

なお、各会計の決算概要は別紙のとおりである。

## 3 審査の期間

平成29年8月21日、22日、23日、24日、25日、28日の6日間

#### 4 審査結果の報告

各会計歳入歳出決算書、事項別明細書及び実質収支に関する調書の計数と歳入歳出整理簿等関係諸帳簿・証書類を照合した結果、すべての重要な点において適正に表示されているものと認めた。

会計における残高は、預け入れ金融機関の預貯金残高等と符合しており、適正であると認めた。

また、基金に関する調書の計数並びに土地開発基金の運用についても、適正であると認めた。

#### 5 指摘事項

例月出納検査、定期監査等も踏まえ指摘事項はなし。

#### 6 留意、検討を要する事項

事務事業の執行にあたり留意、検討を要する事項は次のとおりである。

##### (1) 財政運営の指標について

財政関係指標等の数値は次のとおりである。

経常収支比率は84.0パーセントとなり、前年度の81.3パーセントから2.7ポイント増え、やや硬直化した。普通交付税及び臨時財政対策債が減少し、物件費及び扶助費の増加が主な要因となっている。指針となる75パーセントに向けた改善努力を望む。

### 財政関係指標等

(地方債、基金残高の単位：千円)

区 分		数 値		
		平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末
経常収支比率		83.2%	81.3%	84.0%
実質公債費比率(単年度値)		6.0%	5.7%	6.8%
実質公債費比率(3年間の平均値)		8.0%	6.4%	6.1%
地方債残高		4,995,550	4,930,925	4,933,970
内 訳	一般会計	3,170,423	3,169,108	3,187,847
	簡易水道事業会計	266,484	307,640	355,293
	公共下水道事業会計	875,486	794,212	756,765
	農業集落排水事業会計	673,130	614,433	566,400
	赤松団地造成事業会計	10,027	7,032	6,665
	索道事業会計		38,500	61,000
基金残高		2,188,661	2,267,287	2,253,855

(2) 資産台帳について

① 平成27年度より外部会計事務所に委託し、ようやく平成27年度末における固定資産台帳及び物品台帳がデータベース化され出来上がった。

しかし、平成28年度末（監査期間）の取得・廃棄等の修正が網羅されておらず、平成28年度末の台帳は完成されたものとは言えない状況である。速やかに整備されたい。

② 公共用財産について

その他の施設のうち、林道用地（未登記）を新たに取得した25,012平米が追加してあるが、林道台帳は作成されておらず、かつ以前作成された台帳も鉛筆書きのものもある。未登記の財産であるが公共用財産として、データベース化を行うなど、対外的、将来的にも対応できるものに整備されたい。

③ 若桜鉄道に関する財産について

車輛等が町有財産として固定資産台帳、物品台帳に計上されていないものがある。速やかに網羅されたい。

④ 公会計導入もせまり、各財産の管理も今まで以上に適時適切に管理することが求められている。上記の事務に適合した財務会計規則の変更を同時に行われたい。

(3) 各種税と使用料等について

① 町税ほか各種保険料の現年度分の収納率はすべて99パーセント以上で、滞納繰越分も含めても96.50パーセントとなっており、対前年で1.6パーセント上昇し、県内トップクラスを維持している。

② 債権管理について

(ア) 収入未済額については、回収努力、時効中断、不納欠損も含めて法に基づいた適正・効率的な管理をされたい。

(イ) 不納欠損については、町税及び各種保険料において、1,724千円実施されている。また、公共下水道事業においては、負担金、使用料あわせて4,196千円実施された。時効到来、執行停止等の法令・規則に基づいた手続きを経ているとは認められるが、納税者の状況、時効の有無等、厳重に対応する等債権管理を適切に行い、収入未済額の減少に努められたい。

③ 町営住宅使用料についても、消滅時効期間は5年であるが、滞納率、額ともに高く、慎重かつ厳正に対処され、適切な債権管理を行われたい。

収入未済額明細

(単位：千円)

区 分	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減 額	
	末 ①	末 ②	末 ③	末 ④	④	③
町 民 税	530	484	254	146		△108
固 定 資 産 税	9,509	9,366	7,649	6,973		△676
軽 自 動 車 税	80	45	53	70		17
町 営 住 宅 等 使 用 料	16,843	16,731	16,100	15,982		△118
土 地 建 物 貸 付 収 入	1,231	831	831	831		0
雑 入	296	12	12	20,479		20,467
一 般 会 計 合 計	28,489	27,469	24,899	44,481		19,582

国民健康保険税	14,838	13,403	8,307	6,290	△2,017
介護保険料	262	162	141	238	97
後期高齢者医療保険料	△1	△32	0	△1	△1
簡易水道使用料	5,287	4,823	4,537	4,586	49
下水道負担金	958	759	759	13	△746
下水道使用料	4,762	4,960	5,237	1,865	△3,372
農業集落排水分担金	240	240	240	0	△240
農業集落排水使用料	165	123	126	166	40
索道事業納付金	0	0	13,030	0	△13,030
住宅新築資金等貸付金	97,497	96,678	90,953	89,138	△1,815
特別会計合計	124,008	121,116	123,330	102,295	△21,035
総計	152,497	148,585	148,229	146,776	△1,453

- (4) 氷ノ山関連事業を指定管理委託している（一財）若桜町観光開発事業団に対し、約1千3百万円の債権放棄をされている。暖冬の影響のためにやむを得ず行ったものと思われる。将来、連結決算対象となる当該事業団がさらに当町の観光の中心として、逆境に耐えうる法人になるよう行政当局も指導・協力を願いたい。
- (5) 管理委託業務について  
塵芥処理事業及び公共下水終末処理管理委託については、相当期間同一業者と随意契約が継続されている。2～3年に1回は契約を見直しすることとし、入札制度を導入するなど競争原理を働かせ、管理技術の向上、町民への休日、時間帯等サービスの向上及びコスト削減を目指して、適正・妥当な業者選定を行われたい。
- (6) 特産品開発支援事業補助金について  
特産品を新たに生み出すことは簡単ではないが、制度を生かすことが重要である。補助金の交付方法や交付基準などを見直し、補助金を有効・適正に運用されたい。
- (7) 1、2月の大雪の除雪が原因で、あかまつ団地内の道路柵が約10メートルなくなっている。団地内の子どもたちが自転車等で遊んでいるので危険がある。道路管理者として早急に修理されたい。
- (8) 国の重要伝統的建造物群保存地区の指定事業について、取組から数年が経過しているが、進展度合いが見られない。町民への未来像の提示や対象地区住民とのコンセンサス、行政のやる気度の表明等、まだまだ課題が山積しているように思われる。目標期日を定め、計画を町民に示し、計画実行の見える化を行い着実に進められたい。

## 7 まとめ

平成28年度一般会計の決算額は、歳入37億104万円、歳出34億5,974万円、差引残額2億4,130万円で、繰越財源を控除した実質収支は1億6,539万円の黒字決算

となっている。

また、特別会計（10会計）の実質収支額では、国民健康保健事業が2,778万円の黒字決算、介護保険事業が2,508万円の黒字決算、後期高齢者医療が約7千円の黒字決算、索道事業が401万円の黒字決算、その他の6事業は0円となっている。これは、赤松団地造成事業、財産区造林事業、住宅新築資金等貸付事業を除く7会計が、一般会計から繰り入れを受けた結果である。

財政運営の実質公債費比率他の判断指標数値は、年々改善されつつあるが人口減少が更に進むことが予測され、税収も減少傾向になる中で、水道施設の統合や公営住宅の建替え、道路維持管理等インフラ整備が実施され、財政的には決して余裕があるとは言えない。

更に公会計導入によって、財務4表（貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）による、コスト計算等財務の捉え方が変わってくる。又、外郭団体との連結決算の導入も視野に入れることや、他の市町村との比較が容易になることから、施策の方向を検討する必要がある。

限られた財源の中で、合理的かつ効果的な行政運営が行われるよう期待している。

別紙

平成28年度 各会計決算概要

1 一般会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 3,701,041,420円で予算現額に対する割合は89.1%  
 歳出総額 3,459,743,754円で予算現額に対する割合は83.3%  
 歳入歳出差引 241,297,666円  
 うち 75,910,242円(31.5%)が繰越明許費繰越額  
 実質収支額 165,387,424円

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入 済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円	円	円	円	円	円	%
4,154,249,076	3,745,635,002	3,701,041,420	112,175	44,481,407	△453,207,656	98.8

歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ①-②	執行率 ②/①
円	円	円	円	円	%
4,154,249,076	3,459,743,754	366,747,631	327,757,691	694,505,322	83.3

事業繰越(繰越明許費)の内訳

(単位:円)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額
2 総務費	1 総務管理費	若桜迎賓館修繕事業	934,000	934,000
		若桜鉄道対策事業	36,323,000	36,322,500
	3 戸籍住民基本台帳費	個人番号カード交付事業	5,384,000	280,000
3 民生費	1 社会福祉費	臨時福祉給付金事業	24,816,000	16,324,000
		介護予防施設耐震診断事業	3,621,000	3,500,000
4 衛生費	3 簡易水道費	簡易水道事業特別会計繰出金	28,086,000	100,000
5 農林水産業費	1 農業費	農業用施設改修事業	17,868,000	17,868,000
	2 林業費	美しい森づくり基盤整備事業交付金	29,116,000	13,615,529
		林道諸鹿屋堂羅線開設事業	61,504,680	15,880,082
6 商工費	1 商工費	氷ノ山高原の宿氷太くん火災復旧事業	2,679,000	2,171,000
7 土木費	1 土木管理費	若桜地区宅地造成事業	6,758,000	5,900,000
		急傾斜地崩壊対策事業	4,500,000	1,108,000

	2 道路橋りょう費	町道春米桑ヶ仙線舗装改良事業	62,860,000	13,335,520
	3 住宅費	町営住宅若葉団地建替事業	169,631,000	84,174,000
	4 都市計画費	公共下水道事業特別会計繰出金	94,538,000	200,000
8 消防費	1 消防費	防災行政無線デジタル化事業	225,075,000	153,795,000
10 災害復旧費	1 農業用施設災害復旧費	農業用施設災害復旧事業	1,480,000	1,240,000
合 計			775,173,680	366,747,631

各会計の最近3ヵ年間の予算の執行状況は、下表のとおりである。

一般会計 科目別歳入の状況

(単位：額は千円、構成比は%)

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	決算額	構成比	決算額	構成比	予算額	決算額	構成比
町 税	240,416	7.0	238,295	6.5	241,579	242,339	6.6
地 方 譲 与 税	21,523	0.6	23,448	0.6	18,338	18,550	0.5
利 子 割 交 付 金	754	0.0	651	0.0	371	419	0.0
配 当 割 交 付 金	1,849	0.0	1,349	0.0	1,127	832	0.0
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	958	0.0	1,255	0.0	847	487	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	37,382	1.1	65,675	1.8	56,015	56,015	1.5
自 動 車 取 得 税 交 付 金	3,370	0.1	4,020	0.1	3,474	3,912	0.1
地 方 特 例 交 付 金	321	0.0	181	0.0	150	156	0.0
地 方 交 付 税	1,889,340	54.8	1,970,832	53.4	1,947,380	1,947,380	52.6
分 担 金 及 び 負 担 金	9,723	0.3	10,934	0.3	18,582	13,895	0.4
使 用 料 及 び 手 数 料	35,718	1.0	37,809	1.0	38,473	37,903	1.0
国 庫 支 出 金	193,322	5.6	327,803	8.9	457,889	333,991	9.0
県 支 出 金	337,256	9.8	368,297	10.0	325,284	277,970	7.5
財 産 収 入	16,478	0.5	21,582	0.6	21,289	21,722	0.6
寄 付 金	30,252	0.9	21,827	0.6	22,388	21,758	0.6
繰 入 金	76,283	2.2	23,715	0.7	56,410	53,530	1.5
繰 越 金	170,581	5.0	240,691	6.5	286,986	286,986	7.8
諸 収 入	60,589	1.8	51,834	1.4	89,158	74,387	2.0
町 債	319,731	9.3	281,273	7.6	568,509	308,809	8.3
合 計	3,445,847	100.0	3,691,471	100.0	4,154,249	3,701,041	100.0

一般会計 科目別歳出の状況

(単位：額は千円、構成比は%)

区 分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		
	決算額	構成比	決算額	構成比	予算額	決算額	構成比
議 会 費	60,189	1.9	64,394	1.9	60,850	60,136	1.7
総 務 費	526,671	16.4	726,768	21.3	810,484	705,598	20.4
民 生 費	736,065	23.0	786,054	23.1	831,759	746,029	21.6
衛 生 費	174,881	5.5	157,438	4.6	182,917	164,720	4.7
農 林 水 産 業 費	389,824	12.2	444,776	13.1	536,714	433,621	12.5
商 工 費	190,240	5.9	197,608	5.8	218,764	185,517	5.4
土 木 費	363,085	11.3	362,828	10.6	486,802	342,014	9.9
消 防 費	97,822	3.1	94,498	2.8	313,804	158,390	4.6
教 育 費	346,096	10.8	254,169	7.5	361,273	344,805	10.0
災 害 復 旧 費	541	0.0	80	0.0	1,780	328	0.0
公 債 費	319,743	10.0	315,871	9.3	319,625	318,586	9.2
予 備 費	0	0.0	0	0.0	29,477	0	0.0
合 計	3,205,156	100.0	3,404,485	100.0	4,154,249	3,459,744	100.0

## 2 国民健康保険事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 538,048,368円で予算現額に対する割合は101.1%

(うち一般会計繰入金 39,329,732円)

歳出総額 510,265,725円で予算現額に対する割合は95.9%

歳入歳出差引 27,782,643円

うち 0円(0%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 27,782,643円

### 歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円	円	円	円	円	円	%
532,134,000	545,901,703	538,048,368	1,563,420	6,289,915	5,914,368	98.6

### 歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円	円	円	円	円	%
532,134,000	510,265,725	0	21,868,275	21,868,275	95.9

## 3 介護保険事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 550,683,955円で予算現額に対する割合は95.9%

(うち一般会計繰入金 70,387,388円、基金繰入金 0円)

歳出総額 525,603,799円で予算現額に対する割合は91.5%

歳入歳出差引 25,080,156円

うち 0円(0%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 25,080,156円

### 歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円	円	円	円	円	円	%
574,401,000	550,970,534	550,683,955	48,400	238,179	△23,717,045	99.9

歳 出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ①-②	執行率 ②/①
円 574,401,000	円 525,603,799	円 0	円 48,797,201	円 48,797,201	% 91.5

4 後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 54,401,087円で予算現額に対する割合は97.4%

(うち一般会計繰入金 21,745,587円)

歳出総額 54,394,387円で予算現額に対する割合は97.4%

歳入歳出差引 6,700円

うち 0円(-%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 6,700円

歳 入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済 額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 55,865,000	円 54,400,387	円 54,401,087	円 0	円 △700	円 △1,463,913	% 100.0

歳 出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ①-②	執行率 ②/①
円 55,865,000	円 54,394,387	円 0	円 1,470,613	円 1,470,613	% 97.4

## 5 簡易水道事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額	177,523,760円	で予算現額に対する割合は95.6%
(うち一般会計繰入金 43,221,071円、基金繰入金 999,432円)		
歳出総額	177,523,760円	で予算現額に対する割合は95.6%
歳入歳出差引	0円	
うち	0円	(-)が繰越明許費繰越額
実質収支額	0円	

### 歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円	円	円	円	円	円	%
185,660,000	182,109,713	177,523,760	0	4,585,953	△8,136,240	97.5

### 歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円	円	円	円	円	%
185,660,000	177,523,760	2,200,000	5,936,240	8,136,240	95.6

### 事業繰越（繰越明許費）の内訳

款	項	事業名	予算額	翌年度繰越額
2 簡易水道 施設費	3 拡張改良 事業費	若桜地区簡易水道配水管布設替事業	円 88,755,000	円 2,200,000

## 6 公共下水道事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額	196,708,241円	で予算現額に対する割合は81.4%
(うち一般会計繰入金 87,757,187円)		
歳出総額	196,708,241円	で予算現額に対する割合は81.4%
歳入歳出差引	0円	
うち	0円	(-)が繰越明許費繰越額
実質収支額	0円	

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④	予算現額と収入済額との比較 ③－①	収納率 ③／②
円 241,795,000	円 202,783,037	円 196,708,241	円 4,196,125	円 1,878,671	円 △45,086,759	% 97.0

歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	予算現額と支出済額との比較 ①－②	執行率 ②／①
円 241,795,000	円 196,708,241	円 36,476,000	円 8,610,759	円 45,086,759	% 81.4

事業繰越（繰越明許費）の内訳

款	項	事業名	予算額	翌年度繰越額
1 公共下水道費	1 公共下水道費	若桜浄化センター長寿命化事業	円 56,100,000	円 36,476,000

7 農業集落排水事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 72,943,247円で予算現額に対する割合は95.9%

(うち一般会計繰入金 63,630,721円)

歳出総額 72,943,247円で予算現額に対する割合は95.9%

歳入歳出差引 0円

うち 0円(－%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 0円

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②－③－④	予算現額と収入済額との比較 ③－①	収納率 ③／②
円 76,024,000	円 73,349,382	円 72,943,247	円 240,000	円 166,135	円 △3,080,753	% 99.4

歳 出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ① - ②	執行率 ②/①
円 76,024,000	円 72,943,247	円 0	円 3,080,753	円 3,080,753	% 95.9

8 赤松団地造成事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 7,051,200円で予算現額に対する割合は99.9%

(うち一般会計繰入金 0円)

歳出総額 7,051,200円で予算現額に対する割合は99.9%

歳入歳出差引 0円

うち 0円(-%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 0円

歳 入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済 額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 7,053,000	円 7,051,200	円 7,051,200	円 0	円 0	円 △1,800	% 100.0

歳 出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額と の比較 ① - ②	執行率 ②/①
円 7,053,000	円 7,051,200	円 0	円 1,800	円 1,800	% 99.9

## 9 財産区造林事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額	5,806,580円	で予算現額に対する割合は53.1%
歳出総額	5,806,580円	で予算現額に対する割合は53.1%
歳入歳出差引	0円	
うち	0円	(-)が繰越明許費繰越額
実質収支額	0円	

### 歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円	円	円	円	円	円	%
10,926,000	5,806,580	5,806,580	0	0	△5,119,420	100.0

### 歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円	円	円	円	円	%
10,926,000	5,806,580	4,719,320	400,100	5,119,420	53.1

### 事業繰越（繰越明許費）の内訳

款	項	事業名	予算額	翌年度繰越額
1 農林水産業費	1 林業費	公団造林事業	円 10,860,000	円 4,719,320

## 10 索道事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額	41,779,237円	で予算現額に対する割合は103.9%
(うち一般会計繰入金 5,516,409円、基金繰入金 2,452,582円)		
歳出総額	37,765,808円	で予算現額に対する割合は93.9%
歳入歳出差引	4,013,429円	
うち	0円	(-)が繰越明許費繰越額
実質収支額	4,013,429円	

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 40,226,000	円 41,779,237	円 41,779,237	円 0	円 0	円 1,553,237	% 100.0

歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円 40,226,000	円 37,765,808	円 0	円 2,460,192	円 2,460,192	% 93.9

11 住宅新築資金等貸付事業特別会計

歳入歳出決算額は、

歳入総額 1,915,273円で予算現額に対する割合は99.9%

(うち基金繰入金 0円)

歳出総額 1,915,273円で予算現額に対する割合は99.9%

歳入歳出差引 0円

うち 0円(1%)が繰越明許費繰越額

実質収支額 0円

歳入

予算現額 ①	調定額 ②	収入済額 ③	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	予算現額と収入済額との比較 ③-①	収納率 ③/②
円 1,916,000	円 91,052,887	円 1,915,273	円 0	円 89,137,614	円 △727	% 2.1

歳出

予算現額 ①	支出済額 ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	予算現額と支出済額との比較 ①-②	執行率 ②/①
円 1,916,000	円 1,915,273	円 0	円 727	円 727	% 99.9